



## 令和6年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和5年8月10日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7851 URL <https://www.kc-s.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 啓輔  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 糸川 克秀 TEL 03-3541-2281  
 兼最高財務責任者  
 四半期報告書提出予定日 令和5年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和6年3月期第1四半期の業績（令和5年4月1日～令和5年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第1四半期	692	3.0	14	△74.3	18	△70.6	16	△78.6
5年3月期第1四半期	672	△7.3	56	△25.7	61	△19.4	74	0.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第1四半期	3.41	—
5年3月期第1四半期	15.83	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第1四半期	3,601	2,391	66.4
5年3月期	3,723	2,390	64.2

(参考) 自己資本 6年3月期第1四半期 2,391百万円 5年3月期 2,390百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
6年3月期	—	—	—	—	—
6年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 令和6年3月期の業績予想（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,300	3.7	1	△94.4	5	△80.0	1	△96.4	0.21
通期	2,750	9.9	0	—	10	—	2	—	0.42

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年3月期1Q	5,160,000株	5年3月期	5,160,000株
② 期末自己株式数	6年3月期1Q	489,111株	5年3月期	429,111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年3月期1Q	4,699,900株	5年3月期1Q	4,730,889株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(セグメント情報) .....	6
(収益認識関係) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に変更されたことにより感染症の影響が減衰するなかで、対面型サービスを中心に経済・社会活動の正常化が一段と進みつつあります。しかし、ウクライナ情勢の影響による原材料やエネルギー価格の高騰などは継続しており、先行きは依然として不透明な状況であります。

ビジネスフォーム業界におきましては、経済社会活動の正常化が進みつつあるものの、コロナ禍でのテレワークやそれに伴う印刷物のWEB化・電子化などの定着化による需要減少が続いていることや新型コロナワクチン接種券関係の官需が落ち着いたこと、原材料やエネルギー価格が高止まりしていることにより厳しい環境が続いております。

このような情勢の中で、営業部門におきましては、昨年導入した新設備の稼働率向上のため新規・既存を問わずBPOをメインとしたポテンシャルのあるユーザーの開拓や官公庁・外郭団体の入札参加のための活動、資材等の値上がり分の売価への反映に注力してまいりました。また、生産部門におきましては新規導入設備の早期安定稼働と機械稼働率を上げるため、新たな組織の立ち上げや人材の適正配置、インフレ傾向にある中、原材料、副資材の歩留まりの改善や安定供給、品質維持を念頭においた購買品の購買活動を行ってまいりました。

この結果、売上高は692百万円（前年同期は672百万円）となりました。経常利益は18百万円（前年同期は61百万円）、四半期純利益は16百万円（前年同期は74百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① ビジネスフォーム事業

企業のコスト見直しによる需要の減少、印刷物のWEB化・電子化などの定着化による需要減少が続いているものの、売上高は前年同期と比べ37百万円増加し、409百万円（前年同期は372百万円）、セグメント利益は43百万円（前年同期は61百万円）となりました。

#### ② 情報処理事業

総需要量の減少及び電子化の進行は続いており、既存先や地方自治体等での新規案件獲得に幅広く活動しましたが、売上高は前年同期と比べ17百万円減少し、282百万円（前年同期は300百万円）となりました。セグメント利益は41百万円（前年同期は70百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前事業年度末と比べ198百万円減少し、1,840百万円となりました。これは主に「受取手形及び売掛金」が61百万円、「商品及び製品」が23百万円、「仕掛品」が11百万円、「その他」に含まれる「前払費用」が11百万円、「立替金」が7百万円それぞれ増加し、「現金及び預金」が266百万円、「その他」に含まれる「未取消費税等」が49百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は前事業年度末と比べ77百万円増加し、1,761百万円となりました。これは主に「投資その他の資産」に含まれる「投資有価証券」が85百万円増加したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ109百万円減少し、733百万円となりました。これは主に、「独占禁止法関連損失引当金」が99百万円、「賞与引当金」が15百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は前事業年度末と比べ12百万円減少し、476百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる「リース債務」が16百万円減少したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ1百万円増加し、2,391百万円となりました。これは主に「利益剰余金」が1百万円増加したことによるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年5月12日に開示した業績予想につきまして、現時点における修正はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和5年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,499,814	1,233,396
受取手形及び売掛金	367,260	429,160
有価証券	10,037	10,029
商品及び製品	36,667	60,445
仕掛品	7,317	18,776
原材料及び貯蔵品	35,841	33,765
その他	81,755	54,585
貸倒引当金	△37	△44
流動資産合計	2,038,655	1,840,115
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	229,885	226,820
土地	414,820	414,820
その他(純額)	530,107	521,767
有形固定資産合計	1,174,813	1,163,407
無形固定資産	22,247	19,918
投資その他の資産	487,554	578,306
固定資産合計	1,684,615	1,761,632
資産合計	3,723,271	3,601,747
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	138,968	141,305
短期借入金	320,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	16,664	16,664
未払法人税等	8,647	2,161
賞与引当金	30,034	14,841
独占禁止法関連損失引当金	126,000	26,794
その他	202,904	211,741
流動負債合計	843,219	733,510
固定負債		
長期借入金	29,170	25,004
退職給付引当金	52,704	53,750
役員退職慰労引当金	34,474	35,994
その他	372,893	361,610
固定負債合計	489,242	476,359
負債合計	1,332,461	1,209,870
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,748,931	1,748,931
利益剰余金	631,666	633,506
自己株式	△105,338	△117,578
株主資本合計	2,375,258	2,364,858
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,551	27,019
評価・換算差額等合計	15,551	27,019
純資産合計	2,390,809	2,391,877
負債純資産合計	3,723,271	3,601,747

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)
売上高	672,212	692,288
売上原価	442,424	503,769
売上総利益	229,788	188,518
販売費及び一般管理費	173,253	173,985
営業利益	56,534	14,533
営業外収益		
受取利息	911	742
受取配当金	1,945	1,632
作業くず売却益	153	328
保険解約返戻金	2,293	—
為替差益	1,230	3,255
その他	669	936
営業外収益合計	7,205	6,895
営業外費用		
支払利息	1,532	3,019
その他	229	214
営業外費用合計	1,762	3,234
経常利益	61,977	18,194
特別利益		
投資有価証券売却益	16,088	—
補助金収入	—	80,000
特別利益合計	16,088	80,000
特別損失		
固定資産除却損	1,022	—
固定資産圧縮損	—	80,000
特別損失合計	1,022	80,000
税引前四半期純利益	77,043	18,194
法人税、住民税及び事業税	2,161	2,161
法人税等合計	2,161	2,161
四半期純利益	74,881	16,032

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、令和5年5月12日開催の取締役決議に基づき、自己株式60,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期累計期間において自己株式が12,240千円増加し、当第1四半期会計期間末において自己株式が117,578千円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス フォーム事業	情報処理事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	372,118	300,094	672,212	—	672,212
外部顧客への売上高	372,118	300,094	672,212	—	672,212
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	372,118	300,094	672,212	—	672,212
セグメント利益	61,030	70,413	131,444	△74,909	56,534

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス フォーム事業	情報処理事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	409,616	282,671	692,288	—	692,288
外部顧客への売上高	409,616	282,671	692,288	—	692,288
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	409,616	282,671	692,288	—	692,288
セグメント利益	43,554	41,682	85,236	△70,703	14,533

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期財務諸表の営業利益と調整を行っています。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。